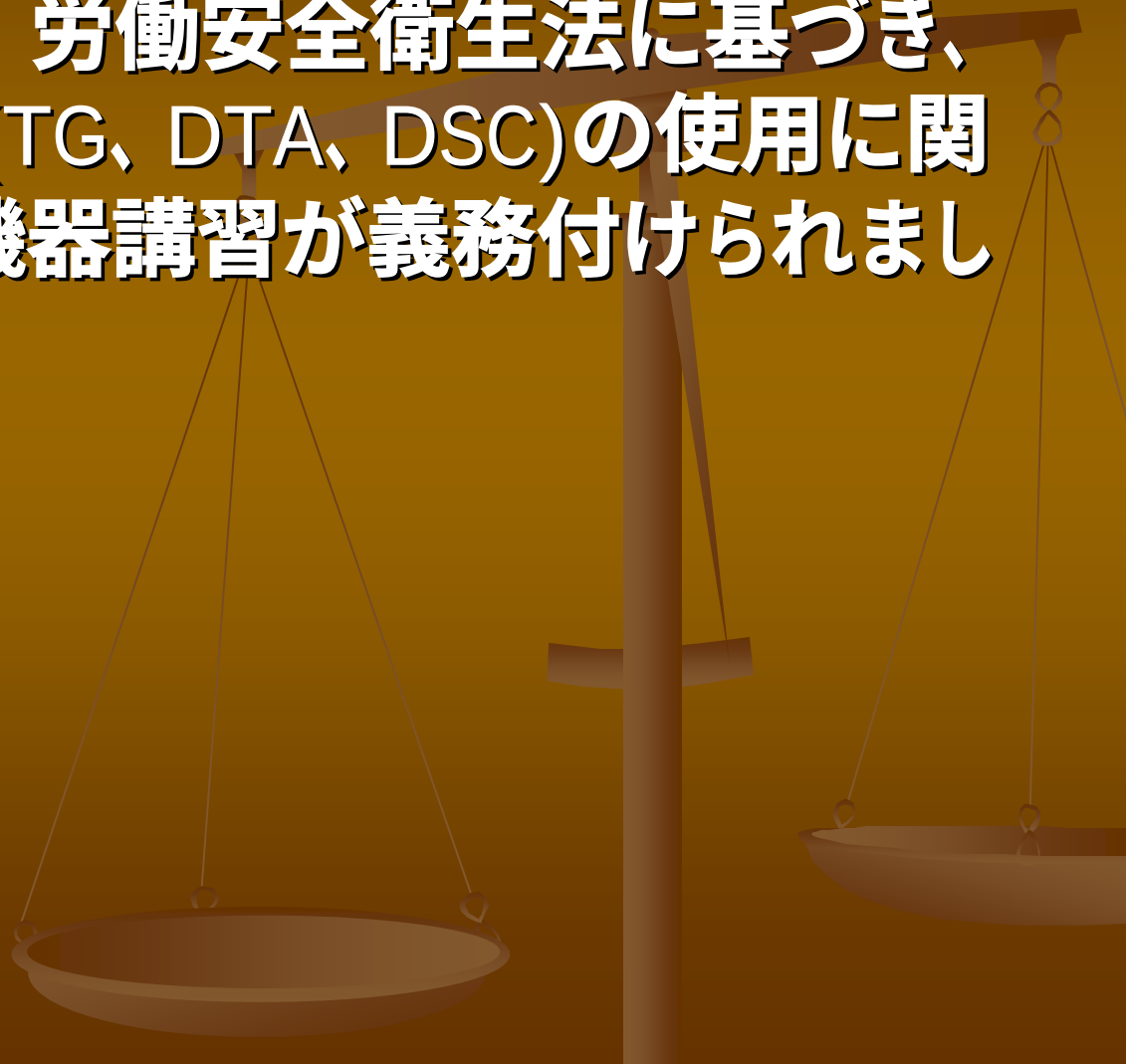
熱分析システム

総合科学研究支援センター
城北ステーション
平成１８年5月

労働安全衛生法に基づく安全講習・機器講習

- 平成16年度より、労働安全衛生法に基づき、熱分析システム(TG、DTA、DSC)の使用に関する安全講習・機器講習が義務付けられました。



熱分析システム
(SII　EXSTAR6000)

- 総合科学研究支援センターには、熱分析用の以下の装置 (セイコーインスツルメンツ製) があります。

① TG、DTA測定装置

- **示差熱熱重量同時測定装置**（SII TG/DTA6200）：Microsoft Windows XP Professional

②DSC測定装置

- **高感度型示差走査熱量計**（SII DSC6200）：Microsoft Windows XP Professional；**データ処理装置は**TG/DTA6200**と共用**

利用資格

- 上記の装置を利用できるものは、愛媛大学教職員および研究室所属の学生（大学院生および学部生）と研究生に限ります。

注意事項

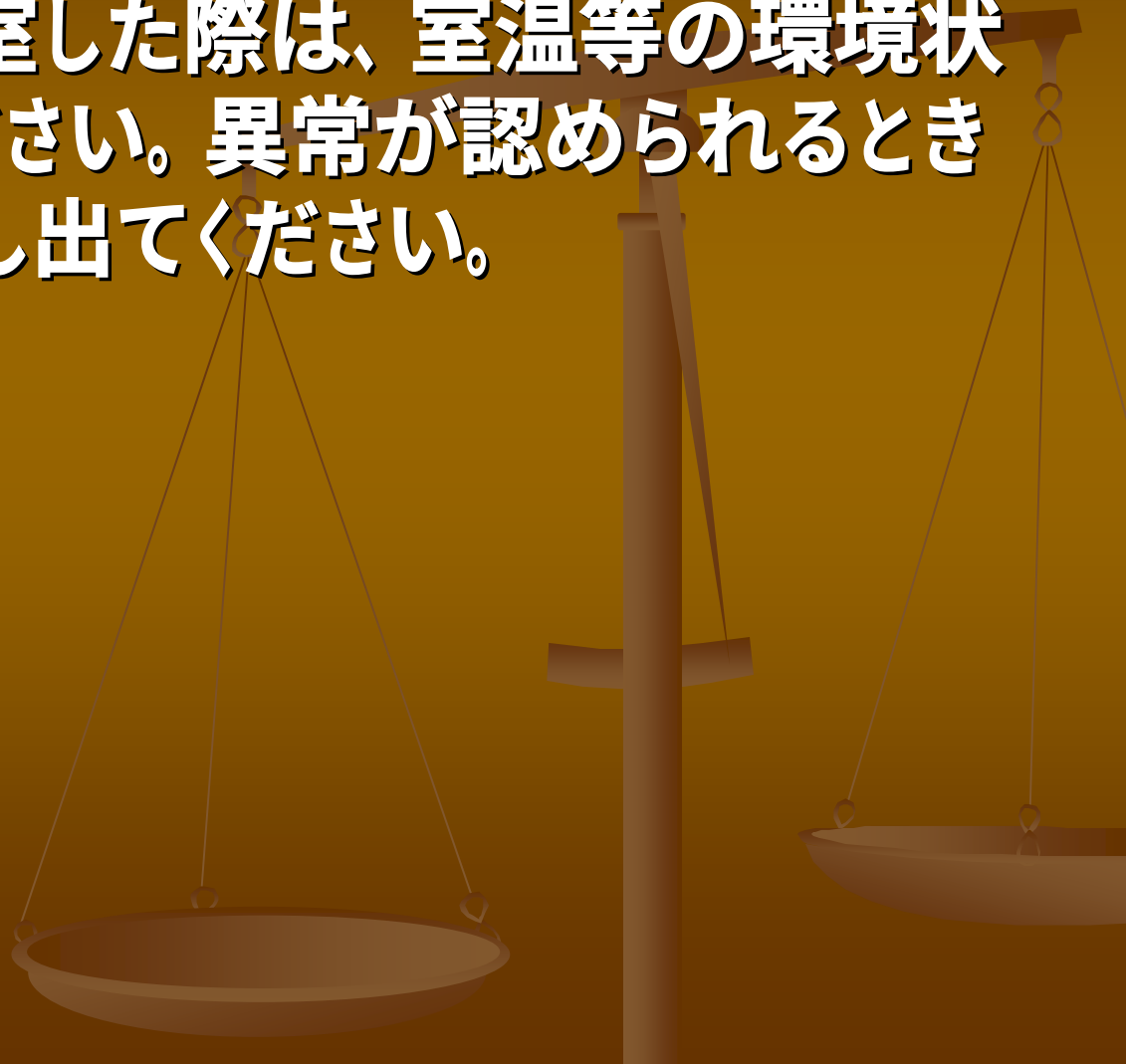
- 以下に、実際の使用に当たっての注意事項を示します。

注意事項①

- 使用者は、学内ＷＥＢ上の予約システムに、自分のユーザーＩＤ及びパスワードを使用して予約してから、機器の利用をするものとします。使用終了後には、備え付けのノートに使用記録を記載してください。なお、利用時間は、月曜日から金曜日までの午前9時から午後5時までの間とします。これ以外の時間帯で、使用を希望するものは、あらかじめ事務室に申し出て、必要な手続きを行ってください。

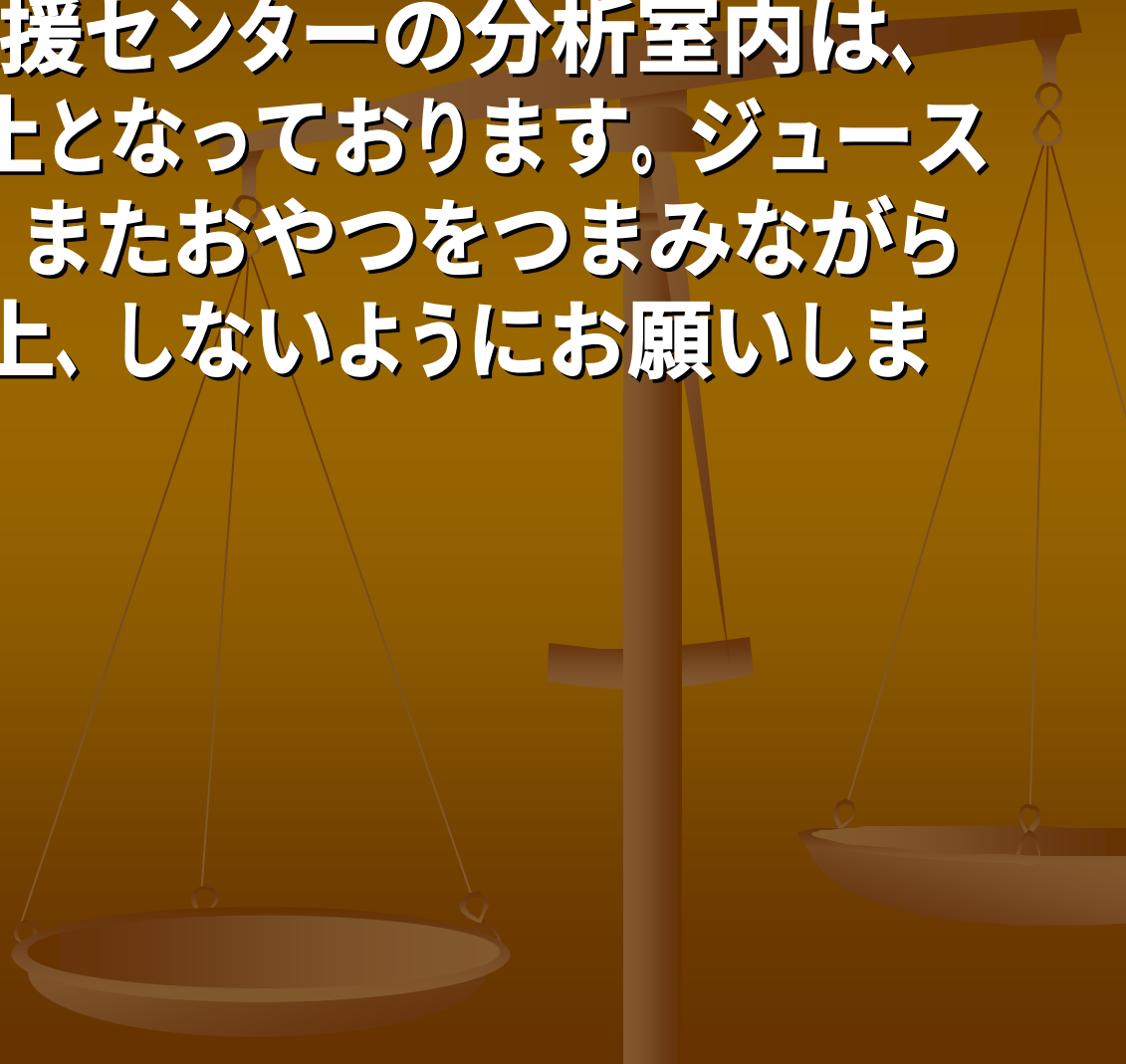
注意事項②

- まず、部屋に入室した際は、室温等の環境状態を確認してください。異常が認められるときは、事務室に申し出てください。



注意事項③

- 総合科学研究支援センターの分析室内は、すべて、飲食禁止となっております。ジュース等を飲みながら、またおやつをつまみながらの測定は、安全上、しないようにお願いします。



注意事項④

- 熱分析装置そのものの使用法については、備え付けの取り扱い説明書を熟読の上、使用してください。取扱説明書は、原則としてセンター外へ持ち出し禁止ですが、必要な場合は、事務室まで申し出ていただければ、借用書に記載の上、貸し出しもいたします。

注意事項⑤

- 測定後、データ等を持ち帰りたいときは、まず、データをテキストまたはエクセル形式で保存して、その後にUSBフラッシュメモリを用いてデータを移動してください。

注意事項⑥

- 液化窒素ガスを用いて低温で、DSC測定を行う際は、部屋の換気に注してください。必ず、換気扇は回っていることを確認して測定をしてください。

注意事項⑦

- 熱分析システムは、センター三階の一般分析室の一部に設置されており、専用の分析室があるわけではないので、他の分析装置に影響を与えたり、他の分析者の迷惑になるようなことはしないでください。もし、不都合が生じるようなことがあれば、以後の使用をお断りすることになります。

注意事項⑧

- 測定のために、分析室内に持ち込んだもの、また、測定後のデータ処理で印刷したチャート等を忘れないよう持ち帰ってください。測定終了後には、きちんと整理整頓して、後片づけをしてから退室するようにしてください。

連絡先

- 以上、不明な点があれば、総合科学研究支援センターまで、お尋ねください。事務室：089-927-9661、谷：089-927-9664

講習終了および内容承諾書
(熱分析システム)

- 総合科学研究支援センターの熱分析システムを利用するに当たり、提示された安全注意義務を遵守します。
  - 平成　　年　　月　　日
  - 職員番号＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
  - 学生番号＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
  - 氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

FAQ用の質問用紙

- 質問事項等があればここに書いてください。
（提出は、任意です。）